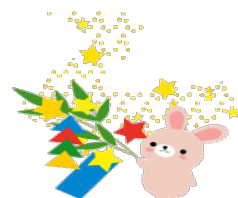




7月の安心かわら版

7月の主な行事

7日 : 七夕	15日 : ファミコンの日
9日 : ジェットコースターの日	16日 : 海の日
12日 : 人間ドックの日	25日 : かき氷の日



がんの分子標的薬治療

がんの治療には、手術、放射線治療、薬物療法などがあります。薬物療法には、抗がん剤、分子標的薬、ホルモン療法、免疫療法などがありますが、最近注目されているのが、分子標的薬です。

分子標的薬とは、がん細胞に特異的に発現する分子や遺伝子を捉えて、がん細胞の異常な分裂や増殖を抑えることを目的とした治療薬です。

従来の抗がん剤は、がん細胞だけでなく、正常な細胞まで破壊してしまうので抗がん剤からのダメージを受けて吐き気や脱毛などの副作用を起こしてしまいます。そこで、がん細胞にだけ存在する物質を標的にして攻撃する方法がないかと開発されたのが分子標的薬です。

がん細胞の増殖に関わる特定の分子だけを標的にするので正常な細胞に与えるダメージが少なく従来の抗がん剤に比べて副作用が少なくすみ、治療中でも通常の生活を送れる人が多いという利点があります。

しかし、副作用が全くないわけではなく、薬剤性肺炎や皮膚障害など、一般的な抗がん剤とは違った副作用の報告もあります。

また、それぞれの治療薬によって引き起こされる副作用も異なります。

副作用と効果を見ながら使うことが重要です。

分子標的薬の投与方法には、点滴と内服があります。どちらも単独で投与したり、ほかの分子標的薬や抗がん剤と組み合わせたりして治療します。ほとんどの場合、外来で治療を受けます。

また分子標的薬の多くは、事前に遺伝子検査を行うことによって、ある程度効果が予測できます。

現在では、がんの治療法にも数多くの種類があります。正しい情報を得ることが大切です。



ご加入中の保険のご確認、

ご質問 etc...

お気軽にご相談ください。



私たちが担当します!



中山 山田 青葉

レジアスインパクト(株)秩父支店
chichibu@rezeous.co.jp

〒369-1872 埼玉県秩父市上影森815
TEL 0494-27-3210 FAX 0494-26-6555

青葉 : aoba@rezeous.co.jp

中山 : nakayama@rezeous.co.jp